

2020.9.25 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位
草津市政記者クラブ加盟社 各位
大阪科学・大学記者クラブ加盟社 各位
文部科学記者会加盟社 各位

立命館大学広報課

■新型コロナウイルス感染症に関わる研究プロジェクト■**基礎研究から応用研究まで、21件の提案を採択****ー自然科学・人文科学・社会科学など、総合知を活かして社会課題を解決ー**

立命館大学は、新型コロナウイルス感染症に関する調査研究からコロナウイルス感染拡大後の社会(Withコロナ社会)形成に向けたさまざまな基礎研究や応用研究を支援する「Withコロナ社会提案公募研究プログラム-Visionaries for the New Normal-」を公募し、このたび、学内から寄せられた提案の中から21件(研究費総額:約3300万円)を採択しました。

この取り組みは、Withコロナ社会を見据え、新しい社会様式に向けた研究活動を推進し、教育・研究機関として人類の平和的・民主的・持続的発展に貢献することを目的としています。6月29日～7月22日の間、本学の全教員から新型コロナウイルス感染症に関わる研究プログラムの提案を募ったところ、自然科学・人文科学・社会科学など多種多様な角度から合計81件の応募がありました。

本学は、今後も各分野における研究の高度化に加え、総合大学の知を活かした多様な研究を推進してまいります。

【採択された企画提案の例】 ※すべての採択シーズは別紙をご覧ください。**■学際系**

<非可聴つぶやき音声による飛沫拡散防止型オンライン会議環境の構築支援>

研究代表者:西浦敬信・情報理工学部教授

研究概要:飛沫拡散の少ない非可聴つぶやき音声を検出可能な皮膚密着型マイクロホンを開発し、AI技術を使って明瞭性の高い通常音声に復元することで、飛沫と騒音の拡散防止を両立可能な新しい生活様式に適したオンライン会議環境構築を支援する。また、将来的には健常者だけでなく声帯発声が困難な方の声の復元にも貢献できればと願う。

■自然科学系

<Withコロナ社会における新たな大学教育のかたち:遠隔教育における大学生の心理状態を実態把握する大規模アンケート調査と脳科学研究を統合した探索的研究>

研究代表者:伊坂忠夫・スポーツ健康科学部教授

研究概要:本研究は、新型コロナウイルス禍で導入が急激に進んだ遠隔教育が大学生の心理状態へ及ぼす影響を生活・環境要因やパーソナリティ特性に関連づけて実態把握する大規模アンケート調査と、この結果を脳科学研究から解明する体系的な研究を行い、Withコロナ社会で推進されるSociety 5.0時代の充実した学びを実現する新たな大学教育のかたちを提案する。

■人文社会科学系

<COVID-19を原因とした差別事例のアーカイビングとインタビュー・質問紙調査 ー歴史的比較による考察と共にー>

研究代表者:後藤基行・先端総合学術研究科講師

研究概要:COVID-19による深刻な社会問題の一つに、罹患当事者・関係者に対する差別・バッシング・ハラスメントが広範に行われていることである。本研究では、この実態を明らかにするため当事者・関係者にインタビューや質問紙調査を行い、その上で過去の類似事例との歴史的な比較考察を行う。また、これらの記録を後世に残して将来への教訓とするため、資料のアーカイビングにも取り組む。

【研究プロジェクト紹介サイト】

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/research/member/corona/>

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和 TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

学際系			
理工学部	教授	山末 英嗣	COVID-19が空調利用に与えた影響の可視化とWithコロナ社会におけるエネルギー戦略
情報理工学部	教授	西浦 敬信	非可聴つぶやき音声による飛沫拡散防止型オンライン会議環境の構築支援
テクノロジー・マネジメント研究科	教授	湊 宣明	テレワーク・WEB講義におけるチーム協働力を高めるオンライントレーニングの開発
テクノロジー・マネジメント研究科	准教授	児玉 耕太	システムダイナミクスモデリングによるCOVID-19アウトブレイクに対する社会的対策の有効性について
先端総合学術研究科	教授	美馬 達哉	Withコロナ社会での持続可能なケア
自然科学系			
理工学部	教授	瀧口 浩一	高画質・高精細画像をリアルタイムで簡便に伝送可能な短距離超高速無線通信の実現
理工学部	准教授	岡田 志麻	在宅ワークにおける完全非接触なストレス・健康モニタリング手法の開発
情報理工学部	教授	加藤 ジェーン	群衆解析技術の開発とデバイス化 ～withコロナ時代に向けて～
スポーツ健康科学部	教授	伊坂 忠夫	Withコロナ社会における新たな大学教育のかたち：遠隔教育における大学生の心理状態を実態把握する大規模アンケート調査と脳科学研究を統合した探索的研究
スポーツ健康科学部	教授	藤田 聡	高齢者に対する遠隔での運動指導：身体組成と免疫機能への効果
人文社会科学系			
法学部	准教授	柳 至	COVID-19対策における専門知と政治的決定がもたらす人の認識と行動の変容
経済学部	教授	橋本 貴彦	新型コロナなどの災害が地域経済に及ぼす影響
産業社会学部	教授	松田 亮三	よりレジリエントな医療提供体制に向けて—新型コロナ感染症対策の医療システム・政策研究
文学部	教授	遠藤 英樹	COVID-19以後のツーリズム・モビリティの課題と可能性
文学部	教授	北出 慶子	在住外国人支援と市民性教育を目的とした多文化共生E-サービス・ラーニングモデルの開発
政策科学部	教授	宮脇 昇	with/withoutコロナ社会と国境開放・国境閉鎖
生命科学部	准教授	木村 修平	BYODを前提とした大学教育デザインの研究 -立命館モデルの構築と提言-
総合心理学部	教授	矢藤 優子	日本と中国における子育て世帯への支援体制の充実：新型コロナウイルス感染拡大前からの経時的調査
先端総合学術研究科	教授	立岩 真也	災害弱者とCOVID-19から構想する新たな共創社会
アジア・日本研究機構	教授	小杉 泰	Withコロナ時代のアジア研究を先導する《拡張現実》の活用と情報可視化の手法開発
先端総合学術研究科	講師	後藤 基行	COVID-19を原因とした差別事例のアーカイビングとインタビュー・質問紙調査—歴史的比較による考察と共に—